

第222号

まちのくすりやさん

今回のおはなし

「脊柱側弯症」

「げっぷ障害」



背骨の曲がり 10代女性多く

背骨が左右に曲がる**脊柱側弯症（せきちゅうそくわんしょう）**のうち、原因不明の10歳以降でみられるのが思春期特発性側弯症です。1クラスに1人程度いるとされ、学校健診や家庭での早期発見が大切です。曲がり具合が大きくなると背中や腰が痛み、肩の高さの左右差など外見上の違いが精神的負担となることもあります。

背骨は胸椎や腰椎などで構成されています。通常は背中を正面から見た時はまっすぐですが、左右に曲がっている状態が脊柱側弯症です。ねじれも伴います。先天的なケースや、別の病気が引き起こすことがあります。8割が原因不明でこれを特発性と呼びます。このうち思春期の女子に多くみられるのが、思春期特発性側弯症です。

やせ形の女子に多い傾向があることや、特定のスポーツ経験者の発症率が高いという研究報告もありますが、詳しい因果関係はわかっていません。近年、発症や進行には複数の遺伝子が関与していることが少しずつわかってきて遺伝子研究が行われています。

脊柱側弯症は立った状態でエックス線撮影して診断します。患者の骨の傾きが大きい部位の角度「コブ角」が10度以上のものが側弯症です。

角度が小さいと自覚症状がないことが多いですが、変形が大きくなると背中や腰の痛みや、肺が圧迫されることによる呼吸機能の低下につながる恐れもあります。

早く発見をして経過観察を続け、進行した場合にすぐ治療を始めることが大切ですが、自覚症状がないと気付きにくいのが厄介です。

重症度ごとに治療が異なります。コブ角25度未満の軽度の場合は、定期的なエックス線検査と診断で経過を観察しますが、25度以上は、装具治療を行います。患者と家族、医療者との間で十分にコミュニケーションを取りながら、治療を進めていくことが大切です。

側弯症とは

背中を正面から見て、背骨が左右に曲がった状態。ねじれを伴う。8割以上が原因不明

思春期の女子に多い

コブ角が10度以上

傾いている骨

側弯症

コブ角 25度未満 25度以上 大きい

手術

埋め込まれたネジなど

症状

自覚症状ほとんどない

自覚症状はあまりないが、外見の変化に悩むことも

背中や腰の痛みを伴ったり、呼吸器や心臓の障害に発展したりする

治療

定期的にエックス線検査や診察を受け、経過観察

装具で変形を抑える。装着時間が長いほど効果が高い

手術を検討。金属製のネジや棒を取り付けて曲がりを矯正する

..... 早期発見が重要

学校の検診で検査が行われている

保護者が家庭で見つけることもできる

普段の生活や入浴時に子どもの背中に興味を持つ

立位検査

✓check!

□ 肩の高さに左右差があるか

□ 肩甲骨が突出しているか

□ ウエストラインに左右差があるか

まっすぐに立つ

前屈検査

✓check!

□ 肩の高さに左右差があるか

□ 背中と腰の左右どちらかに骨や筋肉の盛り上がりがあるか

手を合わせて指先を地面につけるように前かがみになる

デザイン 斉藤晴彦

げっぷ障害 成人の1.5倍

日常生活に支障がでるほど多いげっぷは、「げっぷ障害」として国際的にも病気として認められています。

日本では、成人の約 1.5%がげっぷ障害であることが大阪公立大の研究チームによる調査でわかりました。胃食道逆流症などの消化器疾患を抱える人が多いほか、食事をする際にかむ回数が極体に多かったり少なかったりすることが関係していることも判明しました。

チームによると、「週に4日以上わずらわしいげっぷが出る」症状をげっぷ障害とする国際基準があります。チームは、2023年4月～5月、インターネットを通じて一般成人1万人を対象にげっぷの頻度や病気の有無、食習慣などを調査し、げっぷ障害との関連を分析しました。国際的には成人の約1%がげっぷ障害を抱えているとされていて、国内では約1.5%であることが今回初めてわかりました。

げっぷ障害がない人と比較して、げっぷ障害のある人は、胃食道逆流症や甲状腺疾患、胃カメラなどで病変がみつからなくても胃の不調に悩まされる機能性ディスペプシアとの関連が強かったです。

食べる速度が極端に早いか遅いこと、満腹まで食べること、かむ回数が極端に少ないか多いことも、げっぷ障害の発症と関連することがわかりました。一方で、炭酸飲料を飲む頻度とは関連がみられませんでした。

調査をまとめた同大消化器内科学の藤原 靖弘教授は、「症状に困っていても医療機関を受診していない人は多いのではないかと。げっぷ障害の治療を行っている医療機関は限られており、将来的にはかむ回数の最適化や食生活習慣の改善も検討課題である」と話しています。



明けましておめでとうございます。

昨年もお愛読いただき、ありがとうございました。

今年も身近な話題を中心に掲載させていただきますので、
よろしくお願い致します。

インフルエンザが流行っております。

外出したら、必ず手洗い、うがいをして下さい。

また、人込みに行く時は、マスクを着用して下さい。

(一社) 浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月～金: 10～15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス yaku_ura_t@urayaku.jp

ホームページ <https://www.urayaku.jp/>

★市内薬局の詳細な内容は、上記ホームページにてご確認ください。